

前提条件

- ▶ 桜通大学
- ▶ 単科大学(外国語学部)、大学院あり
- ▶ 教育系

- ▶ 試験的に使用していたスタンドアロンのマシンの動作が不安定になってきたので更新したい。
- ▶ CiNiiのデータを登録済。
- ▶ 更新の予算をもらいたい。



桜通大学 機関リポジトリの構築について

平成22年7月30日 資料

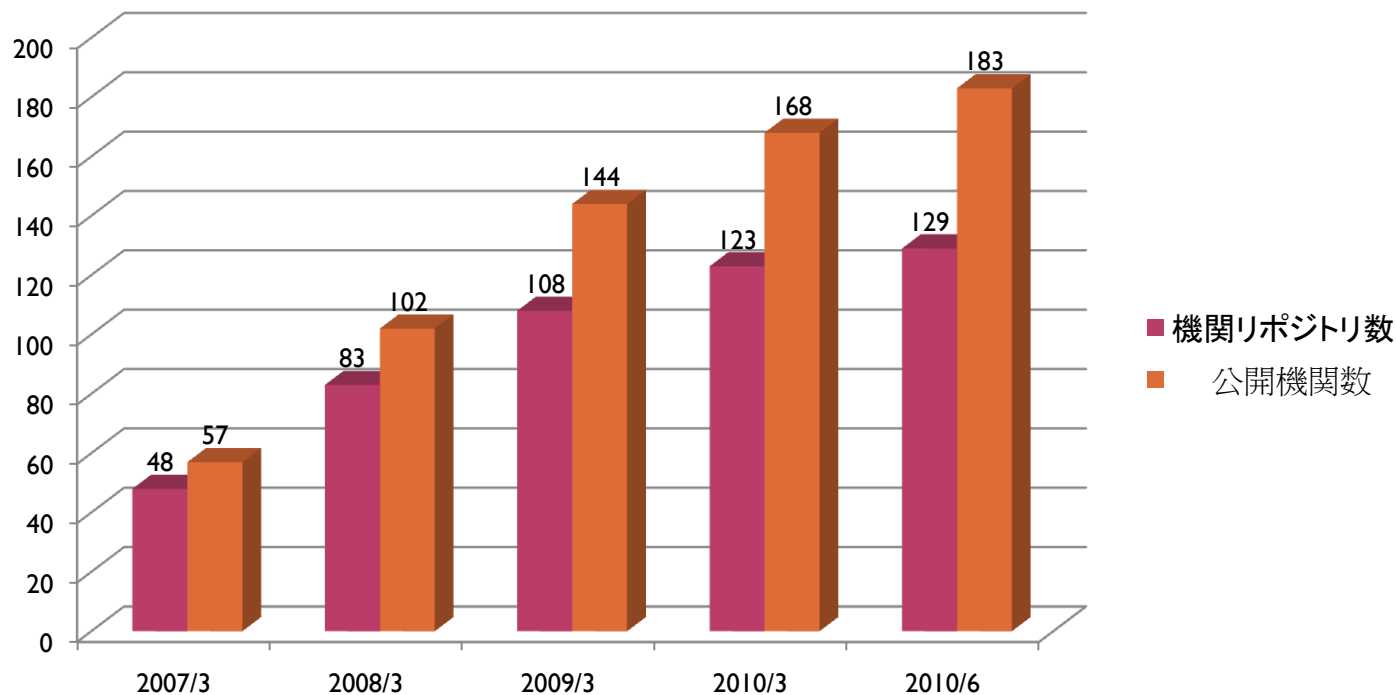
機関リポジトリとは

- ▶ 研究成果をサーバーに登録・蓄積して広く世界に公開・発信するWEB上の電子公開書庫で大学独自のデータベースのことをいいます。
 - ▶ 大学評価の一指標になっています。
(『大学ランキング』(朝日新聞出版)に「機関リポジトリ」の項目)
 - ▶ 「桜通大学機関リポジトリ」を構築し、本学の知的生産物を世界に発信します。
-



機関リポジトリの整備状況

▶ 日本の機関リポジトリ 129機関 (2010/6/30、NII機関リポジトリ統計より)



▶ 世界の機関リポジトリ 1817機関 (2010/7/27、Registry of Open Access Repositories より)

★ 着実に進行中

目的

- ▶ **研究成果の社会的還元**
- ▶ **本学の社会的・公共的価値の向上**
大学・研究者の知名度の向上
- ▶ **研究成果の散逸の防止**

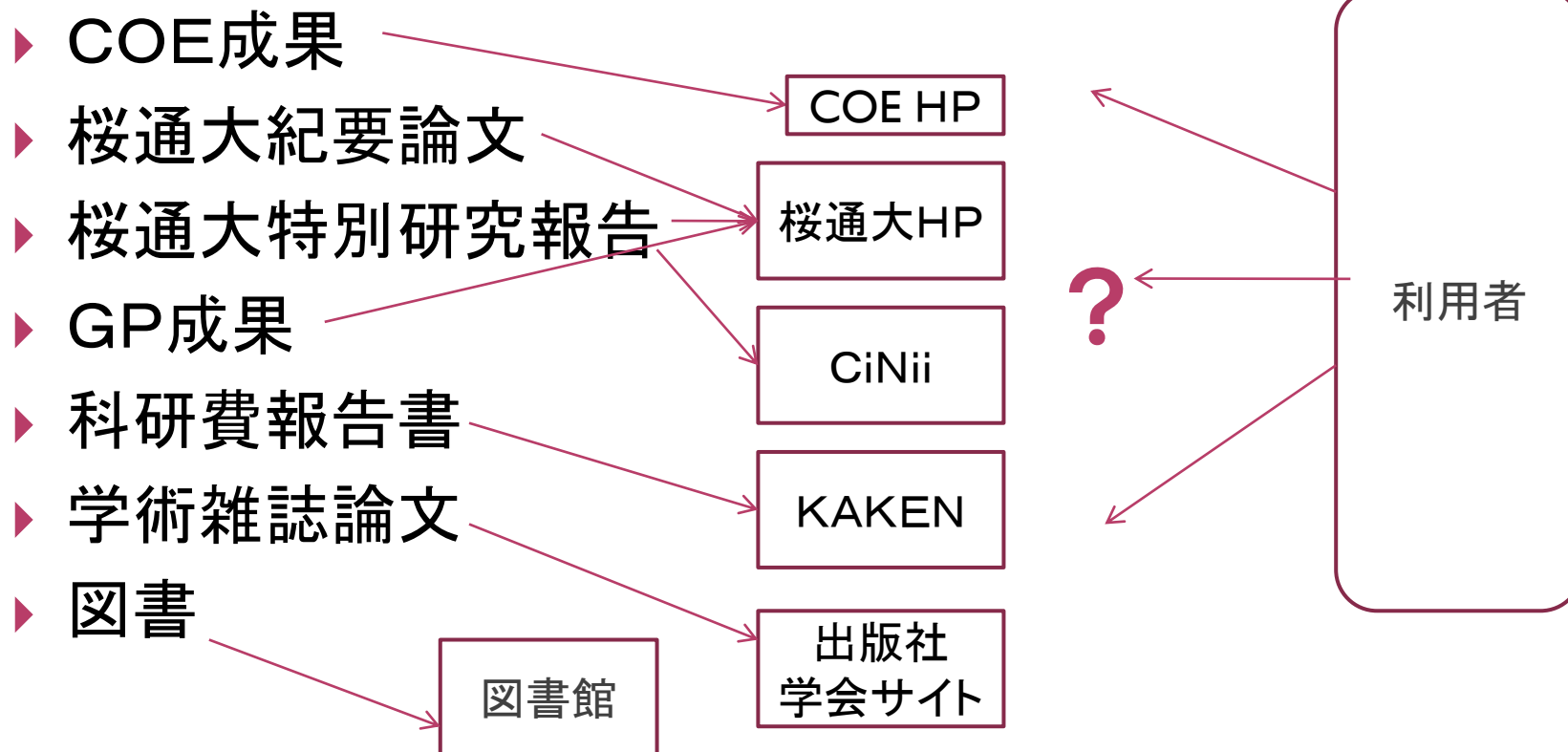


中期目標の実現

研究成果の知的財産化と戦略的活用
研究成果の地域への還元

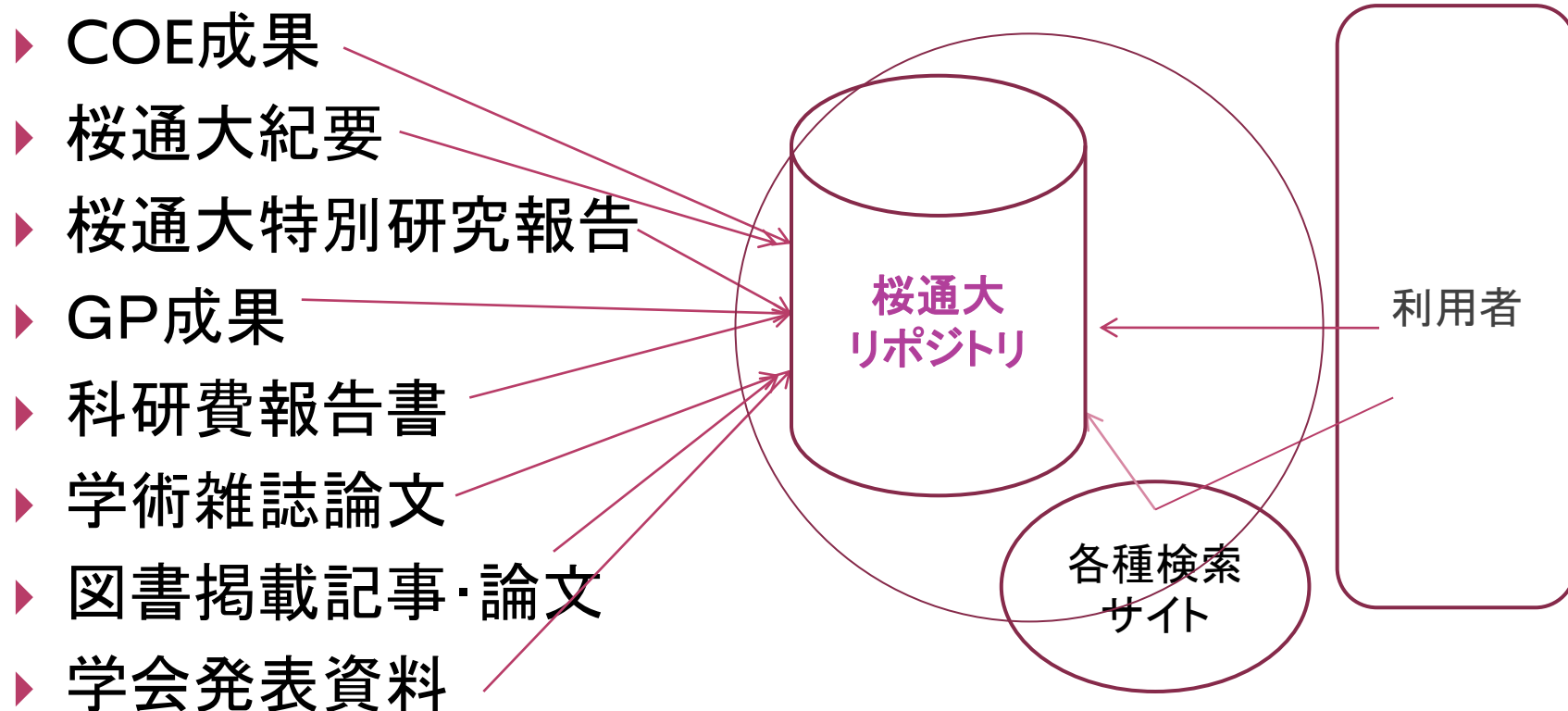


本学の学術成果公開の現状



なかなか研究成果にたどりつけない
研究成果を一覧できない

機関リポジトリでは・・・



研究成果を見つけやすい
業績データベースとしても利用できる

構築することで得られるメリット

▶ 桜通大学にとって

- ▶ 社会に対する説明責任
- ▶ 研究機関としてのブランドの向上

▶ 研究者にとって

- ▶ 研究成果のアピールの向上
- ▶ 業績管理



導入スケジュール（案）

平成22年8月	ワーキンググループの立ち上げ （運用方針、公開イベントの検討） システム更新
平成22年10月	コンテンツ収集（CiNiiから） データ入力
平成22年12月～	テスト公開
平成23年4月	運用開始



コスト

- ▶ システム一式（ハード・バックアップ等）：
70万
 - ▶ 導入費用：自主構築のため不要
 - ▶ 保守費用：42万
-



ご静聴ありがとうございました。

